



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

北海道支部

もっと伝えたい。北海道の赤十字のこと。

# 赤十字ほっかいどう

赤十字の活動資金へご協力をお願いいたします

2019  
春号



出血死から命を守る「ターニケット」

## CONTENTS

新たな赤十字救急法講習……………	2P	脈々と受け継がれる赤十字精神 ……	5P
胆振東部地震災害救護活動報告検討会…	3P	ほっかいどう防災ひろばinチ・カ・ホ…	6P
新指導員が誕生……………	4P	わが町の赤十字奉仕団……………	7P



## 新たな赤十字救急法講習 4月よりスタート

4月より赤十字救急法救急員養成講習は、「JRC蘇生ガイドライン2015」を反映した内容へ変わります。

一次救命処置や応急手当については、国際蘇生連絡委員会(ILCOR)から発表される世界共通の「心肺蘇生法に関わる科学的根拠と治療勧告コンセンサス(CoSTR)」に基づき、国や地域の事情に合わせてガイドラインが作成されています。

日本赤十字社が実施する救急法は、日本版のガイドラインに準拠しており、日本蘇生協議会(JRC)から発表された「JRC蘇生ガイドライン2015」を受け今般、救急法救急員養成講習教本の内容が改定されました。

具体的には、これまでのけがや骨折に対する手当のみならず、脳卒中の早期認識や低血糖などの病気への対応、重度の大出血の場合を想定した止血帯を用いた止血の方法が新たに加わります。

また、今回のガイドラインでは「ファーストエイド<sup>(※1)</sup>」の項目が設けられるとともに「ファーストエイドプロバイダー<sup>(※2)</sup>」という新たな用語も登場しており新たな教本にはその内容も反映されています。

北海道支部では、4月16日(火)の札幌会場を皮切りに7月9日(火)まで10会場で救急法指導員への伝達研修会を実施し、随時、新たな救急法救急員養成講習を道内各地域で開始します。

ぜひ、この機会に国際基準に沿った新たな救急法救急員養成講習を受講してはいかがでしょうか？

講習会の開催予定等につきましては、日赤北海道支部ホームページに掲載していますのでぜひ、ご参照ください。



新たな認定証

### ※1 ファーストエイド

急な病気やけがをした人を助けるためにとる最初の行動

### ※2 ファーストエイドプロバイダー

日赤では、目の前で突然倒れた人や意識がない人を助けるための一次救命処置(心肺蘇生、AEDを用いた除細動、気道異物除去)に加え、急な病気やけがをした人に対して適切に対応できる人を「赤十字救急法救急員(赤十字ファーストエイドプロバイダー)」といいます。



専用の止血帯「ターニケット」

## 胆振東部地震災害救護活動報告検討会

2月13日(水)～14日(木)、「胆振東部地震災害救護活動報告検討会」を北海道支部で実施し、日赤本社、東北各県支部、道内赤十字病院、血液センターより救護活動に参加した医師・看護師・事務系職員など総勢60名が参加しました。

検討会では、「現地災害救護実施対策本部機能について」、「医療救護活動について」、「被災者支援(支援者支援)について」の3項目についてそれぞれ部会に分かれ救護活動を通して見えた課題などについて検討を行いました。

最終日には、それぞれの部会で検討された内容を発表し、課題に対する改善策などを共有しました。



現地災害救護実施対策本部機能について検討を行う参加者

## 日本赤十字社 防災教育事業 支部指導者養成研修



災害エスノグラフィーの体験学習



災害図上訓練(DIG)のグループ発表



災害図上訓練(DIG)の指導実習

3月6日(水)～7日(木)の2日にわたり、「日本赤十字社防災教育事業(赤十字防災セミナー)」の指導者養成研修が北海道支部を会場に開催されました。

本研修は、従来、日赤本社主催で開催されていましたが、今後、より一層の普及のため各都道府県支部で指導者を養成できるよう、パイロット事業として行われたものです。

今回は、道内赤十字病院職員並びに奉仕団指導講師など総勢26名の参加のもと、研修が行われました。

受講者は指導者としての役割を学んだほか、セミナーで行う「災害エスノグラフィー<sup>(※1)</sup>」や「災害図上訓練(DIG)<sup>(※2)</sup>」の体験学習や指導実習を行い知識と経験を深めました。

今後は、受講者それぞれの地域で、自らが災害から命を守るよう、そして防災・減災に関する知識・意識・技術の向上を目指す活動が期待されます。

### ※1 災害エスノグラフィー

被災した人々の視点で書き留められた読み物から、災害を追体験し、被災状況をイメージする。

### ※2 災害図上訓練(DIG)

地域の防災マップの作成を通じ、防災上の資源や危険性を把握し、個人や地域の防災意識を高める。

## 8年目、最後の東日本大震災復興支援事業

2月27日(水)～28日(木)、岩手県陸前高田市・大船渡市・大槌町で北海道ノルディックウォーキング赤十字奉仕団による東日本大震災復興支援事業が行われました。

当事業は、平成23年よりノルディックウォーキングを通して「避難所でのエコノミークラス症候群予防」、「仮設住宅での運動不足解消」、「仲間づくり」などを目的として実施しており本年で最後となります。

現在、仮設住宅はほぼなくなり、多くの方々は県営住宅や市営住宅などの復興支援住宅に移転し新しい居住区で生活されています。

訪問した際には昨年の胆振東部地震を受け「北海道の皆さんは大丈夫ですか?」と温かい声もいただきました。

震災から8年目の今年、当事業は終わりになりますが、引き続き生活再建の一助となれるよう赤十字活動を行っていきます。



ノルディックウォーキングの様子

## 第47回北海道赤十字スキーパトロール競技大会



搬送用ソリを使ったタイムレース



南富良野町  
赤十字奉仕団による  
炊き出し

全道各地のスキー場で人が救助などの活動をしているスキーパトロール赤十字奉仕団が一堂に会し、持ち前の技術を競う大会が2月24日(日)に南富良野町で開催され、当日は選手・スタッフを含め100名を超える参加がありました。

傷病部位を手当てし搬送用ソリに載せ、速く安全に搬送する競技など3種目に6チームが出場し、日々の活動で培った技術が競われた結果、夕張市スキーパトロール赤十字奉仕団が総合優勝を果たしました。

また、競技大会の昼食として、北海道支部で備えている「炊き出し釜」を使った地元の南富良野町赤十字奉仕団による豚汁の炊き出しが振る舞われ、氷点下の気温の中、参加者は心身ともに温まることができました。

## 新指導員が誕生

### ～救急法・健康生活支援講習・雪上安全法～

昨年10月から本年3月にかけて行われた候補者研修・本講習、そして新任指導員研修の合わせて9日間に及ぶ長いカリキュラムを修了し、このたび救急法指導員8名、健康生活支援講習指導員16名、雪上安全法指導員8名が誕生しました。

今後、先輩指導員とともに地元での講習や赤十字の普及など盛り上げていきます。

雪上安全法指導員  
(小樽会場)



救急法指導員(伊達会場)



健康生活支援講習指導員(札幌会場)

## 北海道青少年赤十字スタディー・センター

1月9日(水)～11日(金)の3日間、札幌市で道内の青少年赤十字(JRC)に加盟する小・中・高校の児童・生徒38名がスタディー・センターに参加しました。

今回のテーマは、北海道胆振東部地震をモデルケースとした道内の自然災害について学び、フィールドワークやグループワークを通して自分たちが出来る危機管理や日常の備えを考え、理解を深めることを目的としました。

参加者からは、「災害のことや応急手当など学べて良かった」や「他人に対して優しさや協調性をもちながら生活したい」といった感想も聞かれ、改めて災害について考え、見つめ直す機会となりました。



災害についての講義

## 脈々と受け継がれる赤十字精神

～4奉仕団が30年・55年・70年迎える～



感謝状を受け取る菅野委員長(左)

### [70年] 旭川市赤十字奉仕団

昭和23年、道内初となる赤十字奉仕団として結成以来、社資募集や献血啓発など地域に密着し、また、高齢者や子供たちの目線に立った活動を続け、赤十字思想の普及に尽力しました。

式典では、奉仕団並びに長年にわたり活動している奉仕団員へ有功章や感謝状が贈られました。



式典での記念撮影

### [55年] 小清水町赤十字奉仕団

昭和38年に結成以来、赤十字活動の普及啓発はもとより、小清水町の中心的ボランティア団体として数多くの活動を実施してきました。

式典では、長年にわたり活動している奉仕団員へ有功章や感謝状が贈られました。



式典での記念撮影

### [30年] 長沼町赤十字奉仕団

平成元年の結成以来、社員募集や義援金活動など積極的に実施、また高齢者の食事会など地域の赤十字事業に取り組んできました。

式典では、奉仕団へ感謝状、長年にわたり活動している奉仕団員へ有功章が贈られました。



式典での記念撮影

### [30年] 芽室町赤十字奉仕団

平成元年の結成以来、社資募集や町内福祉イベントでのボランティア活動など地域に根ざした活動を行ってきました。

式典では、奉仕団へ感謝状、長年にわたり活動している奉仕団員へ有功章が贈られました。

## 北海道胆振東部地震災害義援金 募金活動

平成31年3月10日(日)、北海道青年(学生)赤十字奉仕団協議会主催による「北海道胆振東部地震災害義援金募金活動」を札幌駅南口広場で行いました。

募金活動に先立ち、前日の9日(土)には、協議会の構成メンバーである札幌市青年赤十字奉仕団、伊達並びに浦河赤十字看護専門学校学生奉仕団から参加のあった計12名で研修を行い、昨年発生した「北海道胆振東部地震」を振り返り、自分たちが日頃から出来る備えなどについてグループワークを通じて考えました。

募金活動では、前日の研修をふまえ、積極的に活動に取り組み札幌駅南口を通行する方々に大きな声で呼びかけを行いました。



募金活動に参加した奉仕団の皆さん

## ほっかいどう 防災ひろばinチ・カ・ホ



たくさんの皆さんに体験いただきました

防災に関わる行政や企業が連携し、多くの方に防災を知って体験してもらうイベントが、1月19日(土)に札幌市の地下歩行空間で開催されました。

北海道支部では北海道胆振東部地震での日赤の活動紹介をステージで行ったほか、AEDの使い方が体験できるコーナーを設け、たくさんの来場者に体験してもらいました。

## 赤十字看護専門学校・看護大学で卒業式

伊達・浦河赤十字看護専門学校、日本赤十字北海道看護大学(北見市)で卒業式・学位記授与式が行われ、合わせて151名が学舎を巣立ちました。

看護専門学校の卒業式では、伝統の制服に身を包んだ学生たちが卒業証書を受け取り、大変だった実習など仲間と支えあった3年を振り返りました。

卒業生は、道内赤十字病院を始め、医療機関等で看護師としての一歩を踏み出します。



看護師として新たなステージへ羽ばたきます

## わが町の赤十字奉仕団

### ～苫小牧市海上赤十字奉仕団～

苫小牧市海上赤十字奉仕団は、海難防止や海上における人命救助を目的として全国で初めて結団し、今年で20周年を迎えました。

結成当初は、各種小型船舶免許、無線免許などを持つ苫小牧市と近隣市町村のレジャーボートの仲間ら40名が、資格や技術を活かした奉仕活動として、市や赤十字主催の防災訓練等への参加や協力をしてきましたが、近年は海岸の美観を守ることをモットーに、毎年10月の「水辺感謝の日」に合わせ、主にボートを係留しているふるさと海岸や勇払マリーナ付近の海岸清掃活動にも取り組んでいます。

今後の課題は、団員の高齢化が進んでいること、それに伴って結成時は40名いた団員が現在は16名までに減少していることです。

団員を30名まで増やすことを目標に掲げ、「奉仕の心があれば船舶免許がなくても参加は可能」とし、積極的に対外的なPR活動を続けていきたいと思えます。

これからも、海上レジャーの普及に伴う海難事故の防止や、各種災害等に備えて、他の赤十字奉仕団とも連携を強めながら、全員が一層の研鑽を重ねていきたいと考えています。

そのうえで、地域の皆さんに親しまれるような奉仕団となれるよう、団員一丸となって努めてまいります。

委員長 高木 一男

地域に根ざしたさまざまな活動をしている赤十字奉仕団。その中からいくつかの奉仕団の取り組みをご紹介します。



海岸清掃活動



奉仕団員の皆さん

## たくさんのご協力ありがとうございました

活動資金にご協力いただき、表彰された方々を紹介します(敬称略)

### 金色有功章

- [支部] 中島 静  
庄内こどもの歯科 庄内 喜久子
- [根室市] 株式会社 阿部薬局
- [砂川市] 川端 忠幸

### 社長感謝状

- [支部] 三建設備工業株式会社 北海道支店  
白石薬品株式会社 東京支社札幌営業所  
医療法人社団 平田博己内科クリニック  
清水建設株式会社 北海道支店
- [札幌市] 株式会社 ヴィ・エッチ

### 銀色有功章

- [支部] 株式会社 新橋スタンプ商会
  - [札幌市] 佐藤 正治  
吉田 淳一  
中原 孝  
宮脇 優子  
三國 惇  
齊藤 一己  
西谷 昭子
  - [三笠市] 有限会社 クリーンセンターミカサ  
空知信用金庫三笠支店  
いわみざわ農業協同組合三笠支所  
折笠建設株式会社  
三笠ライオンズクラブ
  - [北広島市] 医療法人社団 整形外科ひとしクリニック  
有限会社 博陽スクエア
- (H30年10月～H31年2月表彰伝達分)

## 平成30年度 第2回評議員会



会議冒頭で挨拶を行う伊藤支部長

2月6日(水)、「平成30年度 第2回評議員会」が北海道支部で開催されました。

会議では、永年にわたり赤十字活動へ功労のあった評議員へ銀色有功章が伝達されました。

議事については、「監査委員の任期満了に伴う候補者の選出について」、「本社代議員並びに本社理事の任期満了に伴う候補者の選出について」、「平成31年度事業計画(案)」並びに「平成31年度一般会計並びに各特別会計の各歳入歳出予算(案)」が審議され、原案通り承認されました。

## 5月は赤十字運動月間です。

日本赤十字社の活動は、国や地方自治体からの補助金ではなく、みなさまからの寄付によって支えられています。

そのため、毎年5月を運動月間とし、活動資金へのご協力をお願いしています。

活動資金へのご協力は、日赤北海道支部または、お住まいの市町村役場などの日赤窓口で受付しておりますので今年度も赤十字の活動資金に継続したご支援・ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。



## 病院のマークだと思いませんか？



白地に赤い十字のマークは、戦争や紛争などで傷ついた人びとと、その人たちを救護する軍の衛生部隊や赤十字の救護員・施設等を保護するためのマークです。


その使用については法律(赤十字標章及び名称の使用の制限に関する法律)で、赤十字社と法律等に基づいて認められている組織に限られており、**一般の病院や医薬品などに使用することは禁止されています。**

悪質な使用が認められた場合は、懲役6カ月以下または30万円以下の罰金が科せられます。

### 【まめ知識】

赤十字マークは、創設者アンリー・デュナンに敬意を表し、スイス国旗の配色を逆にしたものが元になっています。

発行日 平成31年4月1日

発行元  日本赤十字社 北海道支部  
 札幌市中央区北1条西5丁目  
 TEL:011-231-7126

 公式facebookで情報発信中!  
<https://www.facebook.com/hokkaido.jrc/>

 <http://www.hokkaido.jrc.or.jp/>